

服、装と言葉

みんなの広場

親を持つ子へ

たんぼの泥仕事をするのに背広のネクタイ姿の百姓はいまだ見たことがありません。火事場に出動する消防員のモーニング姿やおりはかま姿も、また、晴れの結婚式場で喪服姿の花嫁さんもいまだかつて見たことがありません。

服装は時と場所と仕事に感じ、最も適するように考えられて、できあがっています。登山者が赤とか黄とかの、はなやかな色の服装をしているのは遭難した場合人目を引き人目に付きやすいようにして早く発見される保身上の理由からです。つまり生命を守るための色であり服装です。

最近どこの中学校、高等

学校でも制服を定めているのに、なんのためか判断に苦しむような服装をしている少年を見かけます。制服を決めるのには、前記のようにチャンとした理由があるのです。非行を犯した青少年でキチンとしたみなりをしていたものはほとんどありません。心のしまりのないときは、その人の服装まで乱れます。服装の乱れは、心の乱れです。

帽子のかぶり方にしても、その人のねうちや心の乱れをあらわします。団員の職員、バスの運転手警官の帽子が横に、あみだに、天向けにかむられているのを見かけますが……。服装のみだれは心の乱れ、心の乱れは不良化や非行への道です。

に伝えるものです。ただって人間がやさしく呼ぶのと怒って呼ぶのとではチャンと知っています。まして人間同志においては、相手の人の言葉がどんな気持ちから出ているかはつきりとわかるはずですよ。荒まへの道です。正しいキチンとした、品位のある服装をしましょう。また、させる事件がおこりますが、喧嘩の

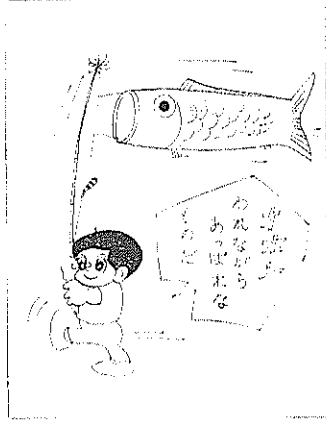
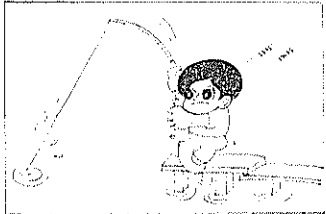
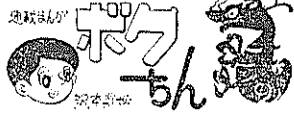
句集 柿の実

夫の踏む自転車春の風を切る
坂道に光こぼれて竹の秋
若竹に指跡残りおりにけり
帯解きて我家に安堵蛙鳴く
弟嫁むかへし夜の桜鯛
春光に肥料ふりふり進みゆく
溜す空に金色檸檬の花

松浦智恵子
井上 友喜
岩村 久恵
太田 陽子
安岡 清子
新田 雅子
溝淵なおい

木の間より見下す代田水光る
竹の秋おそわりつゝに吟行す
打ちつれて行く吟行や田頼道
箭の折れて行くのはいたづらか
且耀の学園しづか葱坊主
千潮の海の人出に友探す
山の端は富層と聞きぬ雁の花
足下に漂ふ暮色袋掛

竹田 明代
高石 杜枝
清水 弥生
田島 晋可
大崎まさ子
橋本きよ女
鈴江 妃世
公文 東梨



無料 人権相談所

毎月20日・中町公民館

★ 原稿募集 ★

短歌、俳句、詩、コント、あなたの意見など、お寄せ下さい
投稿は600字以内。



▽梅雨の季節を目前にひかえて百姓仕事も忙しくなってきた。あわただしく迎え、去ってゆく歳月をむなしものにしたくないと思っっているのだが……

南国市少年補導センター

レシートは

回収箱へ

少年補導センター

激しい、きたない言葉のやりとりがもてます。刃物で傷付けあうまに、すでに、言葉の凶器でお互に傷付けあった上、更に刃物で血まで流しているのです。

目を見ればその人の心の中までよくわかると言う意味で、目は心の窓と言われていますが、言葉もまた心の中を表現するものであり言葉は心のテープレコーダーとも言えます。家庭のお父さんお母さん、それに家庭の皆さん、青少年に正しい服装をさせるよう、また、あたたかいやさしい言葉を言うよう注意を喚起して下さい。また、青少年は自ら正しい服装言葉使いを身につけるよう努力しましょう。